

最新インカム
CLOSE UP!

インカム通話音質を“革新”する 最新ノイズキャンセルを搭載

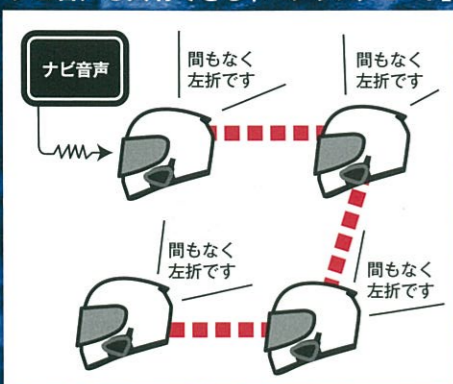


BT X2 PRO Hi-fi

(ビーティー エクストプロ ハイファイ)

価格●2万3544円(シングル)、4万5144円(ツイン) 本体サイズ●H51×W89×D21(各mm)
本体重量(※)●57g 防水性能●IPX6相当 最大通信距離●約1km 最大通話可能人数●4人
最大稼働時間●20時間(インカム通話時) ※本誌実測値

ナビ音声も共有できる「パブリックモード」



BTネクストプロに搭載されるパブリックモードは、グループ通話中にナビやレーダーの音声、音楽などを仲間と共有できる機能。聞こえる音声はモノラルになるものの、例えばナビのルート案内を共有すればルート変更の相談がしやすくなる。発信元にはBTネクストプロが必要だが、シェアはBTプロシリーズのほか、BTネクスト-Cなど旧機種でも可能だ。

他の音声などが入ったときの自動復帰機能などとともに、非搭載のBTプロシリーズユーザーもウェブサイトをから無償のバージョンアップを行うことで利用可能となる。Hi-Fiスピーカーもオプション販売されているため、これらを使えば最新モデルと同じ性能が手に入るのだ。

BT X2プロは4人、BTネクストプロはタンデムライダーを含めた8人での同時通話や他社のインカムと接続できるユニバーサルインターカム機能、距離と人数が無制限で通話できるBTトーク(利用にはスマホアプリのBTトークと別売りのBTボタンが必要)など、充実した機能がBTプロシリーズの魅力。それだけにインカムの基本性能と言える通話品質の向上は、機種選択時の大きな決め手になるに違いない。

扱いやすさは超進化中!
インカム最前線



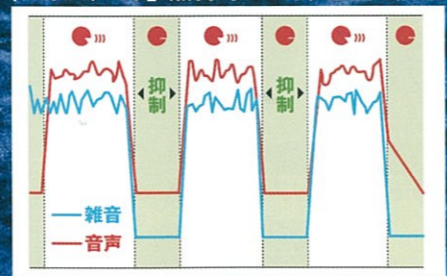
[ミッドランド]

MIDLAND BT NEXT PRO Hi-fi

(ビーティー ネクストプロ ハイファイ)

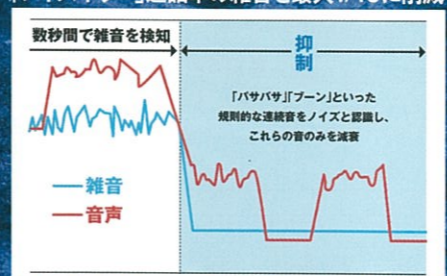
価格●3万2184円(シングル ホワイトモデルも同価格)、6万2424円(ツイン) 本体サイズ●H51×W89×D21(各mm アンテナ部除く) 本体重量(※)●55g 防水性能●IPX6相当 最大通信距離●約1.6km 最大通話可能人数●8人 最大稼働時間●20時間(インカム通話時) ※本誌実測値
© LINKS ☎075-708-2362 info@linksofjapan.jp
http://www.midlandradio.jp

「ノイズゲート」無音時のマイク感度を調整



●通話してなくても、マイクは様々な走行音を拾っている。これが相手に伝わるとノイズとなるため、マイクの感度を下げて雑音を80%削減するのがノイズゲートシステムだ

「ノイズキラー」通話中の雑音を最大1/10に削減



●ノイズキラーシステムは、風切り音やエンジン音など規則的な音のみをバックグラウンドノイズと認識し、音声と区別してフィルターをかけることで雑音を最大18dBも低減する

ライダーの周りはノイズだらけ!



●風切り音やエンジン音、タイヤのロードノイズなど、ライダーの周囲はバイクの走行音であふれている。これらをマイクが拾うとノイズとなり、通話の邪魔をしてしまうのだ

このノイズキャンセル機能を実際に走行して試したが、ノイズが入りやすいオープンフェイスヘルメットでも相手の声が非常に明瞭に聞こえたのが印象的だった。音楽再生時は豊かな低音域とクリアなボーカルの声を楽しむこともできたので、単にノイズが減っただけでなくHi-Fiスピーカーの効果も大きいと思われる。なおノイズキャンセル機能は、高音域と低音域の調整ができるイコライザやバッテリー残量案内、インカム通話やミュージックシェア時に

音声通話や音楽再生時などインカムの「音」にこだわるミッドランドのBTプロシリーズが、昨年のHi-Fiスピーカー標準化に続き、ノイズを低減させて通話品質を向上させるマイナーチェンジを実施した。

BTネクストプロとBT X2プロ、BT X1プロに新搭載されたノイズキャンセル機能「MWe(ミッドランド・ウインド・エクスペリエンス)」は、軍隊用の通信機やオーディオメーカーのヘッドセットにも採用されるなど高い実績を持つイギリスの音響技術研究会社と共同開発したもの。会話をしていないときにマイクが風切り音などを拾わないようマイクの感度を調整する「ノイズゲートシステム」と、通話中にバックグラウンドのノイズのみを大幅に削減する「ノイズキラーシステム」という2つのノイズキャンセレーション技術を採用している。